

2023年8月20日 「神の憐れみ」と考えましょう

夏季聖会が終わりました。聖会を担当して下さった3名の兄姉は「4年ぶりですから多くの兄姉で集いたい。教会を遠のいている青年たちと交わりたい」との願いを持って企画して下さいました。準備と実施には多くのご苦労があったと思います。担当者とともに、ご一緒に奉仕に参加して下さいました兄姉たち、講師としておいで下さった浅田先生に感謝を致します。

教会がこうして久しぶりの夏季聖会をご一緒にできたのは、決して当たり前のことではなく、神が招き、関わっておられるのだ…と心にとめています。

教会として個人としてどのようなビジョンを新たにしたいでしょうか。会場はホテルであれ教会であれ、荒野の旅やキャンプ生活を思い描くことは難しいかもしれませんが、「教会のキャンプ」であることそれ自体が祝福でした。神が用意され、導き、教会のために担当者と奉仕者らが「ビジョンを新たにしたい」と働きを分かち合ったのですから…。

ところで「バイブルキャンプ」は、旅でのキャンプ生活を思い描くことは難しいかもしれません。荒野の旅は、イスラエルの民がそうであったように苦しみや疑問をいだかせます。苦しみは私たちを孤独にします。キャンプを終えて孤独について考えてみました。参加できなかった兄姉はどのような思いだったのだろうか…と。

私たちは自分のことはさておいて他の兄弟が試みを受けて心を痛めていると、簡単に「信仰があれば、荒野の旅でも神と共に生きることができます。ヨシュアとカレブを見なさい」と言ってしまわないでしょうか。

信仰生活を、強いか弱いか「勝ち組・負け組」と見るのではなく、神のご主権、偉大さに私たちの心を向けたいものです。エペソ 1:15～23

200万を超えるかも知れない人たちの中の二人が、カナンの地へ入れたのは「神の憐れみ」と考えましょう。私たちの信仰生活を支えて下さる神の憐れみ(慈しみ)を深く心にとめて生きて行きたいと思います。

ロマ 9:6～18

●「ところで、バビロン捕囚のイスラエルの民についても考えてみましょう。故郷に戻るといふ思いが、長く辛い捕囚の歳月、民を支えていました。その思いは私たちをも支えるでしょう。私たちは地上で捕囚の身となっており、罪のために故郷から遠ざけられた者だからです。天の国へ戻ることを熱望しているのです。」【マグラス、信仰の旅路】

● 先聖日の午後～月曜日の午後(8/13.14)は、4年ぶりの夏季聖会【講師・浅田朗先生】がありました。担当者【義岩兄、香佳姉、浩美姉】による企画、準備、実施をありがとうございました。ご一緒に奉仕下さった兄姉たち、講師の浅田先生に感謝いたします。

● 浅田めぐみ先生も二日間をご出席下さいましたから心から歓迎。

● 今年1月から、礼拝における賛美選曲、牧師ではなく義岩兄が担当しておられますから祝福を。礼拝奏楽のひとみ姉と義岩兄に感謝。

● 今日第三聖日。礼拝は会堂と家庭でオンライン結ばれていることを感謝いたします。● 午後はリーダー【晋一兄・義岩兄】による班別集会があります。3階に新しくノートパソコンが入りました。2階事務室のPC入れ替えを考慮中。先日曜日に3階キッチンの電子レンジが壊れましたから急遽買い替えられました。

● 会計によって「7月度会計報告」が印刷されていますから、お受け取り下さい。

● 夏季聖会の交わりに、8/13.14、義弘ご家族(4名)が出席でしたから、みなさんの喜び。心から歓迎。

● 9/3(第一日曜日)の午後は、青年会(契悟兄)、ハンナ会(美代子姉)、主人会(西村兄)別による礼拝と定例会です。

● 先週も、平日に植物部【香佳姉】メンバーによる暑さの中での花々の手入れ、台風への取り組みがなされましたから感謝いたします。

● BBF国内宣教委員会【井口拓志師】から、9/22～23日(金土)「国内宣教カンファレンス 会場・日本バプテスト聖書神学校」のご案内。説教者：浜田献牧師【清水聖書バプテスト教会】。掲示されていますから参加希望者は牧師へ。